

◆教科	総合応用技術	◆科目	中国語 I	◆科目コード	60742	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	2年(前期)	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	中国語の基本表現を学び、挨拶及び接客における簡単なコミュニケーションが取れることを目的とする。 簡単な日常会話の繰り返し練習を通じて中国語に慣れ親しみ、中国文化を体験することができる。						
◆到達目標	わからない言葉は辞書や教材で調べながら、外国語であることを恐れることなく、 積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢ができ、接客で中国語が使えるようになる。						
回数	授業の形式	授業内容①		授業内容②		使用教材	備考
1	講義	中国語の種類 標準語の特徴 発音記号の表記の仕方とアクセント 中国語と日本語の違い 中国文化の紹介					
2	講義	発音記号のおさらい 挨拶・感謝・謝罪					
3	講義	発音記号の復習 前回までの教科書内容の復習 喜び・お願い・同意					
4	講義	復習 あいづち・常用フレーズ 名前の中国語の発音について					
5	講義	復習 初対面での会話 名前の聞き方など。 日本語と似て中国語の名詞について					
6	講義	復習 久しぶりの再会での会話 基礎的な文法					
7	講義	復習 場所と勤務先における会話 方向・移動に関する表現					
8	講義	復習 基本フレーズのおさらい 曜日 月 数字について					
9	講義	中間テスト 前回までの復習					
10	講義	中間テストの返却 前回までの復習 夏休みの勉強法について					
評価方法及び基準		<p>中間テストにより評価</p> <p>【評価】点数上位20%→A評価、21%～60%→B評価、61%以降→C評価(ただし60点以上に限る)</p> <p>①追試験を受験して合格した場合、60点としてC評価とする。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。</p> <p>②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。</p> <p>③再試験を受験して合格した場合、60点としてC評価とする。</p>					

◆教科	総合応用技術	◆科目	メイクセラピー検定2級	◆科目コード	60744	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	2年(前期)	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	<p>心理カウンセリングとメイクを融合したメイクセラピーを通じて、「メイクとメンタルサポートの知識と技術の習得」を目指す。適切な「印象管理」を理論的に学び、心理学を理解することでコミュニケーション能力を向上させる。メイクセラピストの在り方を学び、メイクセラピー検定2級取得者として、就職活動だけでなく将来の活動に生かせる知識と技術を身につける。</p>						
◆到達目標	メイクセラピー検定2級合格あるいは同等の知識及び技術の習得						
回数	授業方法	授業内容①		授業内容②		使用教材	備考
1	講義	メイクセラピー的心理学、心理療法				教科書	
2	講義	カウンセリング概論		ロールプレイング		教科書	
3	講義	カウンセリングの3要素 →積極的傾聴、受容的態度、共感的理解		ロールプレイング		教科書	
4	講義	印象分析メイク実習		相モデルで実施 実技試験をふまえて実習		教科書	メイク道具
5	講義	化粧心理 メイクプラン作成		なりたい印象になるメイク 相モデルで実施		教科書	メイク道具
6	講義	色彩心理・色彩学 論述対策 模擬テスト				教科書	
7	講義	マナー メイク実習 論述対策				教科書	メイク道具
8	講義	論述対策 模擬試験				教科書	
9	講義	模擬試験 実技模擬試験				教科書	メイク道具
10	講義	検定試験				教科書	メイク道具
評価方法及び基準		①出席率50点 ②プリント提出物30点 ③実技20点					
		【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価					
		①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。					
		②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。					
		③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。					

◆教科	総合応用技術	◆科目	接客心理 I	◆科目コード	60745	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	2年(通年)	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	接客を行う上で、お客さま心理や交渉学への関心が高まっていることもあり、その手法を取り入れた接客も今後ますますニーズの高まりが予想される。 そのため、まず、この授業においては、接客を行う上で必要な知識や手法を理解し、お客さまが「本当に求めているもの・サービス」を提供できるよう学ぶ。						
◆到達目標	接客心理の概要が理解でき、接客心理検定3級に合格						
回数	授業の形式	授業内容①		授業内容②		使用教材	備考
1	講義	接客心理学とは、商品属性、属性値 誰でも知っている商品情報(一律情報) 属性値を購買プロセスに組み込む					
2	講義	認知スキーマ、認知バイアスとバーナム 接客における記憶の使い方 スキーマボードの作り方					
3	講義	スキーマボード実習					
4	講義	情報とコミュニケーションの区分 正しい言葉使い、情報とコミュニケーション 談話能力、FACT-ACT、社会言語能力、方略的言語能力					
5	講義	接客コミュニケーションテクニック① ポジティブハロー、単純接触の原理、初頭効果、親近効果 OATH理論、マズローの欲求階層説、コントラスト、アンカリング					
6	講義	接客コミュニケーションテクニック② スウェイ(心の揺らぎ)損失回避、コミットメント、価値基準選考 サービスと接客の違い、接客の適正距離、笑顔の効果、反報性と好意の法則					
7	講義	接客コミュニケーションテクニック③ 時間と共感、記憶、ゲーミフィケーション、カクテルパーティー効果とは カタルシス効果、アップセル、ダウンセル、クロスセル、テンションリダクション					
8	講義	接客コミュニケーション④ バンドワゴン、ヒューリスティックバイヤス、希少性の原理 空間心理、色彩心理、自己成熟度、認知的不協和、文脈効果、シャルバンティエなど。					
9	講義	マーケット問題対策					
10	講義	接客心理検定3級対策、単位認定試験					
評価方法及び基準		単位認定試験により評価					
		【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価					
		①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。					
		②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。					
		③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。					

◆教科	総合応用技術		◆科目	BAメイク	◆科目コード	60748	◆授業の方法	講義・実習
◆開講年度	2023年度		◆開講時期	2年通年	◆担当教員	専任教員 (実務経験あり)	◆授業の回数	3h×70
◆授業の目的と概要	基礎知識を深め、お客様に合わせたカウンセリング対応力を高めること。新商品や高評価・人気商品を用い、BA(ビューティアドバイザー)として実務経験のある教員が、その経験を活かし、実際の店頭環境に近い状況でロールプレイングし、講義・実習を行う。							
◆到達目標	知識・接待・技術を身に付け、様々なお客様に対して臨機応変に対応することができるようになること。 個性を生かした自分のカウンセリングスタイルをつくることができるようになること。							
回数	授業内容①	授業内容②			授業内容③		使用教材	備考
1	実習	メイクチャート						
2	実習	メイクチャート						
3	実習	メイクチャート						
4	実習	メイクチャート						
5	実習	メイクチャート			評価			
6	実習	ブランドプレゼンテーション						
7	実習	ブランドプレゼンテーション						
8	実習	ブランドプレゼンテーション						
9	実習	ブランドプレゼンテーション						
10	実習	ブランドプレゼンテーション						
11	実習	ブランドプレゼンテーション						
12	実習	ブランドプレゼンテーション						
13	実習	ブランドプレゼンテーション						
14	実習	ブランドプレゼンテーション						
15	実習	ブランドプレゼンテーション			評価			
16	実習	ラッピング(キャラメル包)						
17	実習	ラッピング(円柱)						
18	実習	ラッピング(スクエア)						
19	実習	ラッピング(斜め)						
20	実習	ラッピング						
21	実習	ラッピング						
22	実習	ラッピング			評価			
23	実習	就職メイクサポート						
24	実習	就職メイクサポート						
25	実習	就職メイクサポート						
26	講義	皮膚の構造						
27	講義	皮膚の仕組み						
28	講義	皮膚の仕組み						
29	講義	皮膚の付属器官						
30	講義	皮膚の生理作用						
31	講義	スキンタイプの種類(普通肌)						
32	講義	スキンタイプの種類(乾燥肌、脂性肌、混合肌)						
33	実習	スキンケアアイテム・スキンタイプカウンセリング						
34	実習	スキンタイプカウンセリング						
35	講義	シーズンスキン(春・秋)						
36	講義	シーズンスキン(夏)						
37	講義	シーズンスキン(冬)						
38	実習	シーズンスキンプレゼンテーション						
39	実習	シーズンスキンプレゼンテーション						
40	講義	スキントラブル(乾燥)			評価			
41	講義	スキントラブル(ニキビ)						
42	講義	スキントラブル(毛穴)						
43	講義	スキントラブル(シミ)						
44	講義	スキントラブル(くすみ)						
45	講義	スキントラブル(くま)						
46	講義	スキントラブル(しわ)						

47	講義	スキントラブル(たるみ)				
48	実習	スキンカウンセリング(質疑応答)				
49	実習	スキンカウンセリング(質疑応答)				
50	実習	スキンカウンセリング	評価			
51	講義	スキントラブル(乾燥)				
52	講義	スキントラブル(ニキビ)				
53	講義	スキントラブル(毛穴)				
54	講義	スキントラブル(シミ)				
55	講義	スキントラブル(くすみ)				
56	講義	スキントラブル(くま)				
57	講義	スキントラブル(しわ)				
58	講義	スキントラブル(たるみ)				
59	実習	フルカウンセリング(質疑応答)				
60	実習	フルカウンセリング	評価			
61	講義	性別による肌の違い				
62	講義	スキンケアアイテム・スキントイプカウンセリング				
63	講義	ヘアスタイル・ヘアケア				
64	講義	ベースメイク				
65	講義	アイブロウ				
66	講義	ボディケア				
67	講義	メンズファッション				
68	講義	メンズファッション				
69	講義	模擬問題	評価			
70	講義	メンズスタイルアップ検定(10月)				
評価方法及び 基準	100点満点での実技テストを行い、チェックリストによる減点方式とする(授業8割以上の受講をもって評価する)					
	【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価					
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。					
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。					
③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。						

◆教科	総合応用技術	◆科目	コミュニケーション学Ⅱ	◆科目コード	60772	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	2年(前期)	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	様々な環境の中で、多様な人との出会いをお互いにとってより良い関係に発展させるには、コミュニケーション能力が重要なスキルとなります。戦略的なコミュニケーションを組立てることができるように、言語スキルだけでなく、脳科学理論や行動心理学をふまえたコミュニケーション授業とします。						
◆到達目標	コミュニケーションが苦手な人も、うまくいく対話のコツを身につけ、相手を理解するための考え方や対処方法を習得し、前向きで楽しいコミュニケーションスキルを育てるようになることを達成目標とします。						
回数	授業の形式	授業内容①		授業内容②		使用教材	備考
1	講義	ビジネスコミュニケーション 1.上司の攻略 2.「報・連・相」のタイミング 3.演習①				プリント	
2	講義	ビジネスコミュニケーション 1.上司への対応 2.部下への対応 3.問題が起こった時の対応 4.演習②				プリント	
3	講義	コミュニケーション別4タイプの分類 1.自分のタイプ分析チェック 2.リーシャルスタイルについて 3.演習③(相手のタイプ分析)				プリント	
4	講義	1.コミュニケーションを構成するアイデンティティ 2.ニューロロジカル 3.価値観 4.ディベート 5.演習④				プリント	
5	講義	1.マナーについて 2.信頼される話し方 3.職場の人間関係をスムーズにする話し方 4.相手の立場に立った話し方 5.自分の「話し方」の分析 6.演習・自己紹介				プリント	
6	講義	1.コミュニケーションサービス 2.ホスピタリティ 3.心理学的アプローチ 4.ベISING、ミラーリング 5.ポジティブとネガティブ 6.演習(ネガティブからポジティブへの変換)				プリント	
7	講義	1.セルフマネジメント 2.プレゼンテーション 3.演習				プリント	
8	講義	1.メールの対応 2.電話の対応 3.嫌われないコミュニケーション 4.演習(電話・メールの体験)				プリント	
9	講義	コミュニケーションまとめ 1.カウンセリング 2.プレゼンテーション 演習(「なりたい私」へのアドバイス)				プリント	
10	講義	テスト まとめ 1.コミュニケーションと自身のかかわりについて発表 2.授業のまとめと今後の取り組みについて				プリント	
		テスト80点					

評価方法及び 基準	授業態度10点→授業当初、10点保有。演習への取り組み(準備状況、発表の仕方)の様子が芳しくない場合、各回(3時間単位)の講義で1点ずつ減点
	出席点10点→1～3時間の欠課(-3点)、4～6時間の欠課(-5点)、7時間以上(-10点)
	【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 50～69点→C評価 0～49点→D評価
	①追試験を受験して合格した場合、C評価とする。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。
	②試験または追試験の結果が49点以下の場合、再試験の受験を義務づける。
③再試験を受験して合格した場合、C評価とする。	

◆教科	総合応用技術	◆科目	メイク応用	◆科目コード	60751	◆授業の方法	実習
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	2年(通年)	◆担当教員	常勤教員	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	イメージ、悩み、顔の構造等から人に与える印象をメイクで向上、改善する						
◆到達目標	モデルに合わせたメイクアップを的確に行える技術を取得。						
回数	授業方法	授業内容①	授業内容②	使用教材	備考		
1	実習	教材配付ノ授業内容説明 1年生技術確認					
2	実習	1年生の技術確認・復習					
3	実習	顔型修正メイク 丸顔					
4	実習	顔型修正メイク 丸顔					
5	実習	顔型修正メイク 面長					
6	実習	顔型修正メイク 面長					
7	実習	顔型修正メイク 逆三角形					
8	実習	顔型修正メイク 四角形					
9	実習	顔型修正メイク 菱形					
10	実習	顔型修正メイク モデルに合わせる	スキンケア				
11	実習	顔型修正メイク モデルに合わせる	スキンケア				
12	実習	顔型修正メイク モデルに合わせる	スキンケア				
13	実習	印象メイク キュート					
14	実習	印象メイク キュート	スキンケア				
15	実習	印象メイク クール					
16	実習	印象メイク クール	スキンケア				
17	実習	印象メイク フレッシュ					
18	実習	印象メイク フレッシュ					
19	実習	印象メイク エレガント					
20	実習	印象メイク エレガント					
21	実習	印象メイク ゴージャス シルバー					
22	実習	印象メイク ゴージャス ゴールド					
23	実習	印象メイク キュート	タイム35分				
24	実習	印象メイク キュート	タイム30分				
25	実習	印象メイク キュート	タイム30分				
26	実習	印象メイク キュート	タイム30分				
27	実習	印象メイク キュート	テスト30分				
28	実習	印象メイク クール	タイム30分				
29	実習	印象メイク クール	タイム30分				
30	実習	印象メイク クール	タイム30分				
評価方法及び基準	100点満点での実技テストを行い、チェックリストによる減点方式とする(授業8割以上の受講をもって評価する)						
	【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価						
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。						
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。						
③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。							

◆教科	総合応用技術	◆科目	販売促進演習 (テクスチャ)	◆科目コード	60753	◆授業の方法	実習
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	2年(通年)	◆担当教員	常勤教員	◆授業の回数	3h×20
◆授業の目的と概要	質感に特化したトレンドメイクを身につけることを目的として、技術提供からクロージングまでの一連をロールプレイングし、即戦力となる技術を修得することを目的として授業を行う。						
◆到達目標	モデルの肌質、なりたいイメージに合わせた質感メイクを技術者が提案できる技術を修得。						
回数	授業方法	授業内容①		授業内容②		使用教材	備考
1	実習	印象メイク クール		タイム30分			
2	実習	印象メイク クール		タイム30分			
3	実習	印象メイク クール		テスト30分			
4	実習	年代別メイク 1950年代		模写			
5	実習	キャッツメイク		展示			
6	実習	キャッツメイク		自由作品			
7	実習	年代別メイク 1960年代		模写			
8	実習	年代別メイク 1970年代		模写			
9	実習	年代別メイク 1990年代		模写			
10	実習	ブライダルメイク 和装		展示 ファンデーション、チーク			
11	実習	ブライダルメイク 和装					
12	実習	ヘアショー メイク					
13	実習	ステージメイク 宝塚 男性		展示			
14	実習	ステージメイク 宝塚 女性		展示			
15	実習	ステージメイク ピエロ		展示			
16	実習	ステージメイク ダンス①		模写			
17	実習	ステージメイク ダンス②		模写			
18	実習	特殊メイク エイジ		模写			
19	実習	特殊メイク 傷、火傷		模写			
20	実習	ヘアショーメイク					
評価方法及び基準	100点満点での実技テストを行い、チェックリストによる減点方式とする(授業0割以上の受講をもって評価する)						
	【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価						
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。						
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。						
③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。							